

特集

災害に強い 安全な国土づくり

～復旧・復興～

【特集の趣旨】

平成23年3月に未曾有の大被害をもたらした東日本大震災をはじめ、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、令和元年房総半島台風（第15号）や東日本台風（第19号）などの自然災害により大きな被害が発生しました。その後も、令和2年7月豪雨では特に九州で記録的な大雨となり、令和3年7月の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨では、静岡県熱海市での土石流のほか、河川の増水や低地の浸水が発生し、令和4年も、3月の福島県沖を震源とする地震、7月及び8月、台風第14号及び台風第15号の大雨、12月の大雪等、全国各地で災害が多く発生しました。

災害からの地域の復興には、インフラストラクチャーの早期復旧と復興の活力の源となる拠点・基軸の形成が欠かすことができません。特に近年の大災害からの復興に当たっては、将来的な発展を見据えた創造的復興が注目されています。

このような大規模な災害が発生した際には、国土交通省の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が被災状況の迅速な把握、災害応急対策に対する技術的な支援等をしてきています。また、被災した地方公共団体に他の地方公共団体が職員を派遣するなどの支援が行われてきています。

今号の特集では、地方整備局・地方公共団体等における復旧・復興事業の取組事例、TEC-FORCEの活動をはじめ、被災状況の把握から迅速な対応に向けた被災地支援の取組事例を紹介します。

特集担当編集委員 外山 喜彦
（国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課
河川情報企画室 企画専門官）



2024年1月16日 照明車を活用した夜間の道路緊急復旧
（石川県輪島市）
国土交通省TEC-FORCE（テックフォース）撮影



CONTENTS

令和3年8月豪雨の被災地支援と復興への取組	8
一般国道193号の災害復旧	11
令和4年8月の大雨における災害復旧	14
北海道胆振東部地震で被害を受けた里塚地区の取組	17
港湾施設の被災状況把握の高度化	20
令和5年発生災害と水産庁の取組	23
TEC-FORCEの支援による孤立集落への架け橋	26